

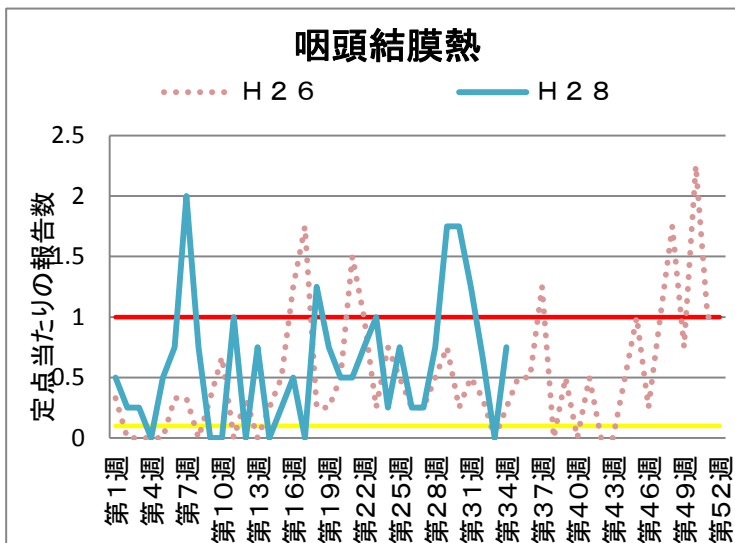
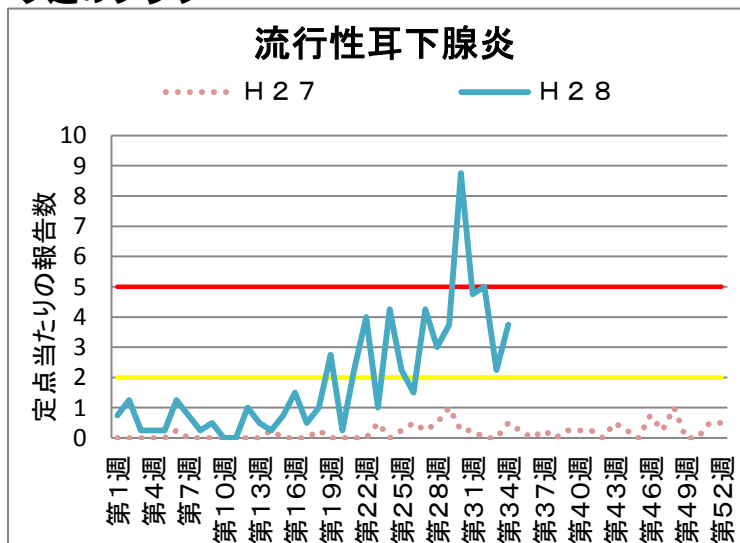
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 34 週 平成28年8月22日 ~ 平成28年8月28日

今週のコメント

○流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告は、流行警報継続レベルが続いています。
○報道もされていますが、全国各地で麻疹(はしか)の報告が相次いでいます。
・ワクチンを受けていない方は、できるだけ早めの接種をご検討ください。
・熱や発疹などの症状が出た場合には、速やかに医療機関を受診してください。
・発熱とカタル症状(咳、鼻水、眼球結膜の充血等)が2~3日続いた後、口腔内に白い粘膜疹(コプリック斑)が現れ、一旦体温は下がったかのように見えますが、すぐに高熱となり、体に赤い発疹が出始めて全身に広がります。肺炎、中耳炎等を合併することが多く、麻疹患者1,000人に一人は脳炎を合併し、命に関わります。
・空気感染で広がり、感染力が非常に強いことが特徴です。

今週のグラフ



* ——— 流行警報基準値です ——— 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	2
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.75	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	4.75	ヘルパンギーナ	0.25
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	3.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

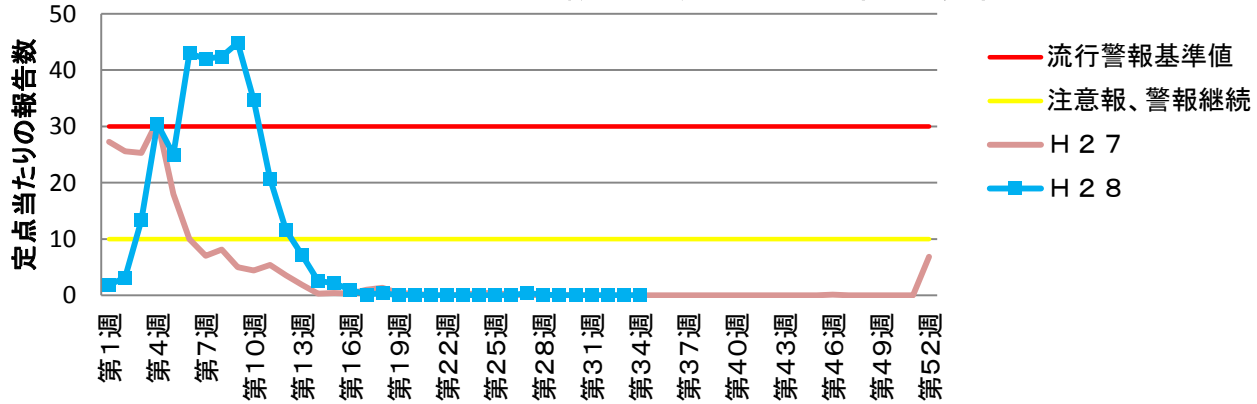
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

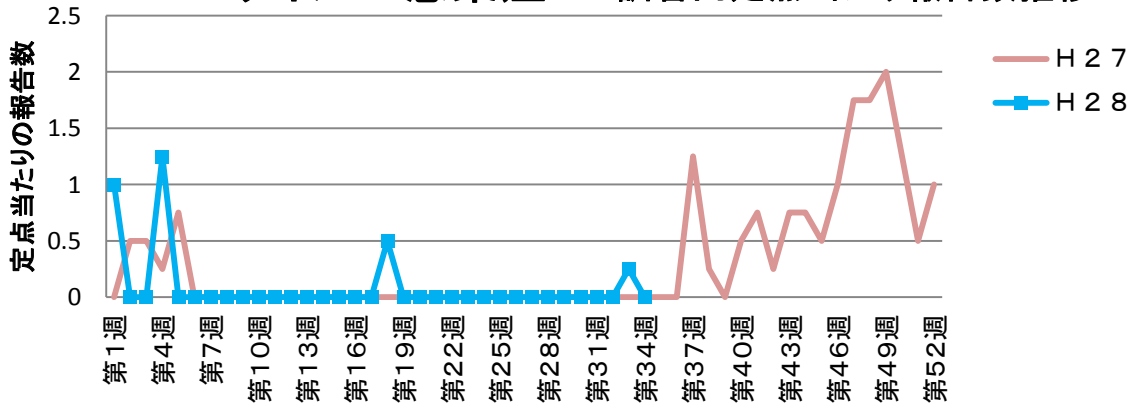
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

定点報告による各疾病の推移

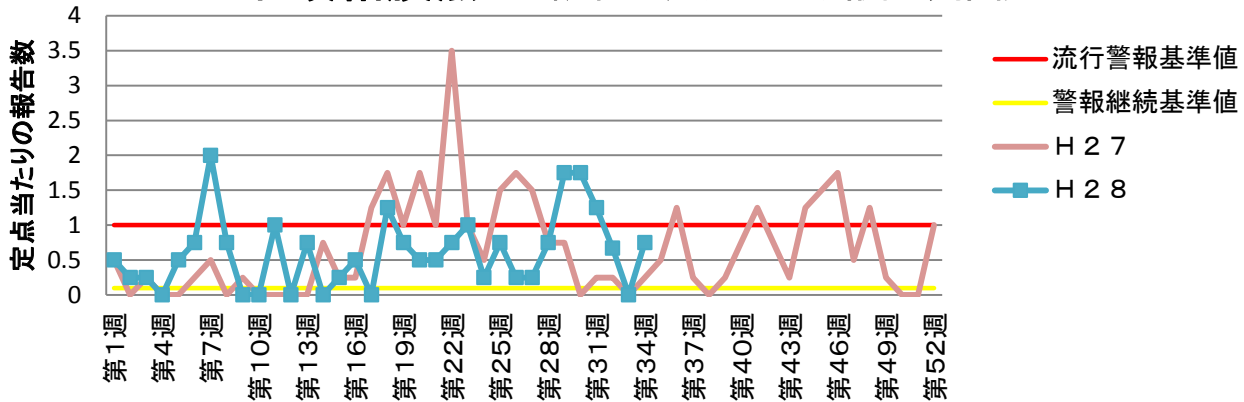
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



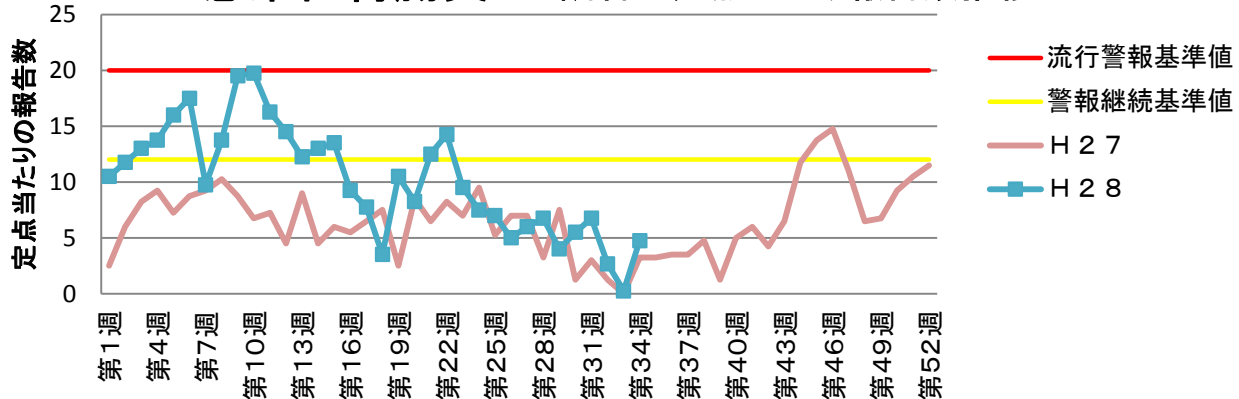
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



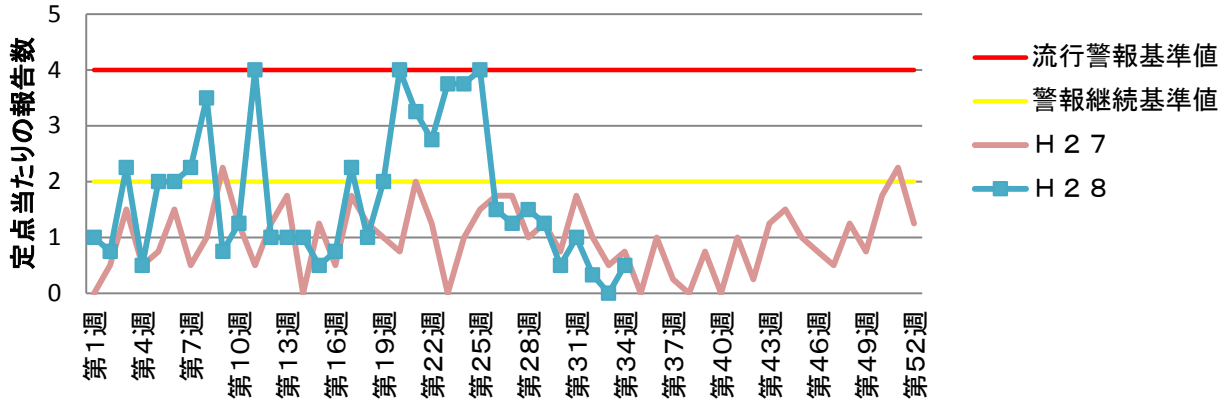
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



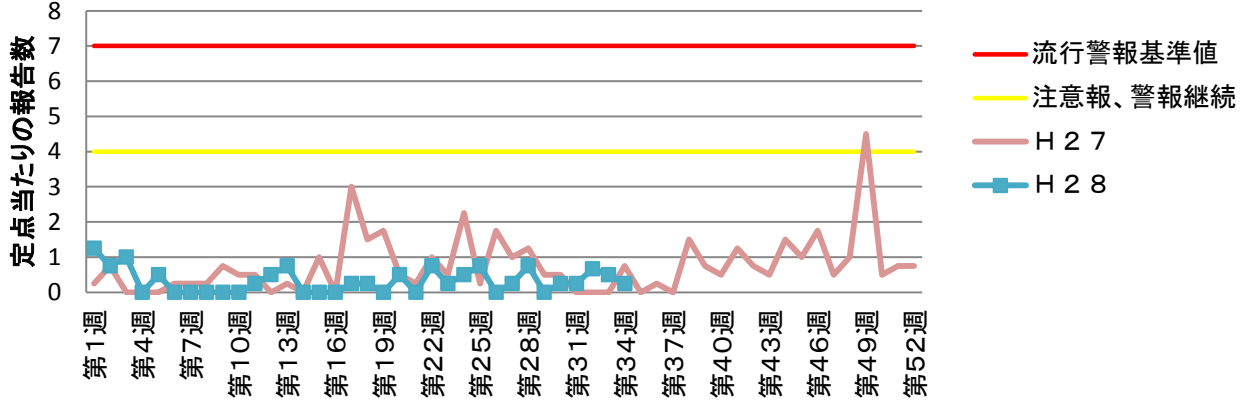
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



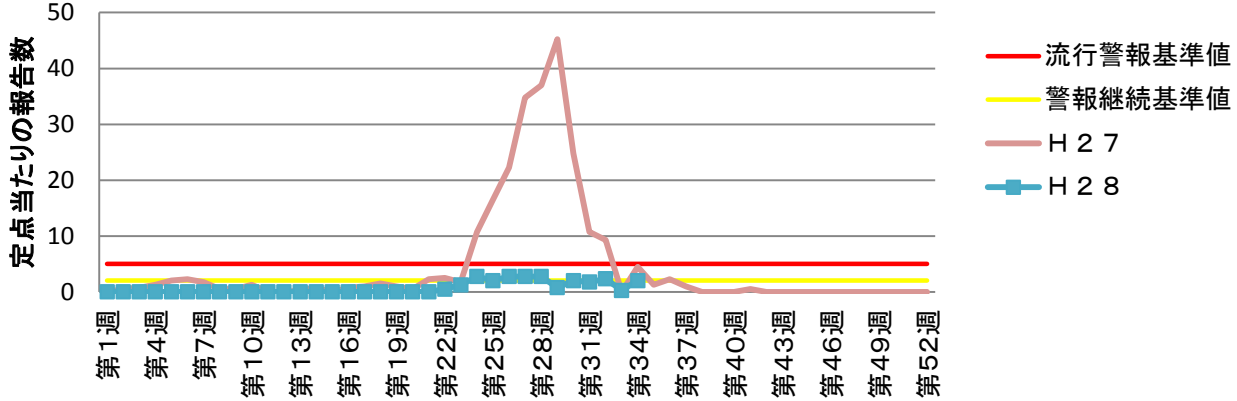
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



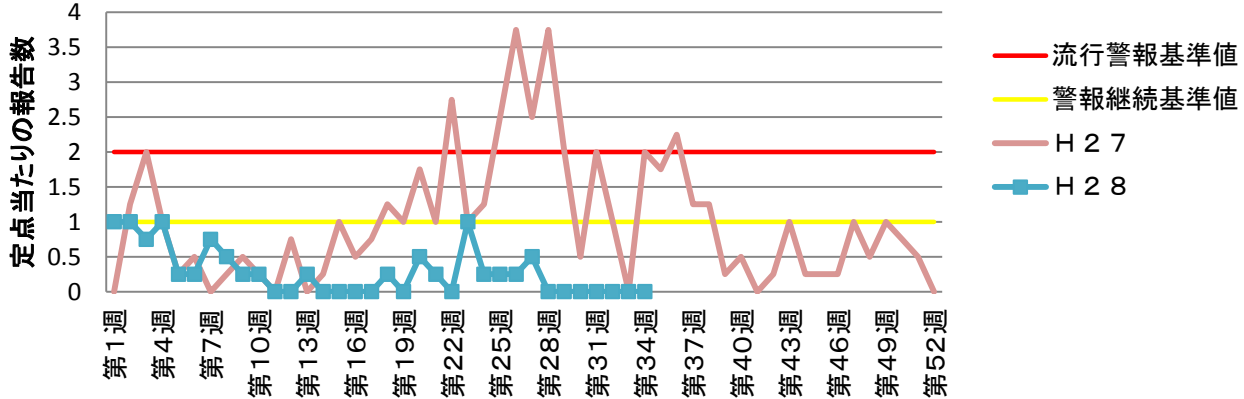
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



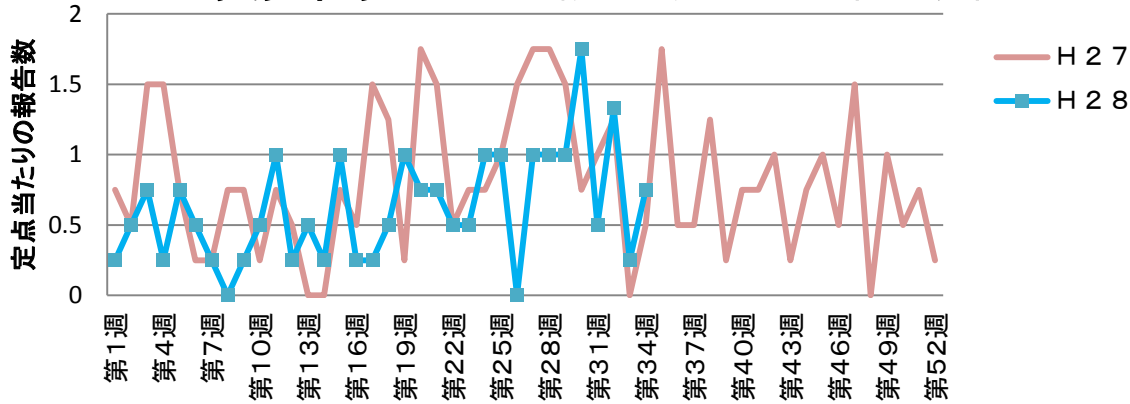
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



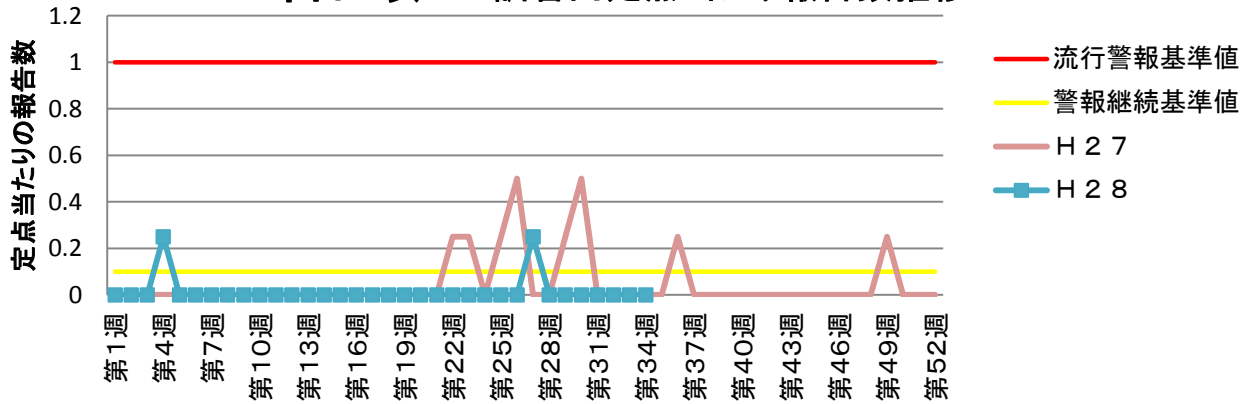
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



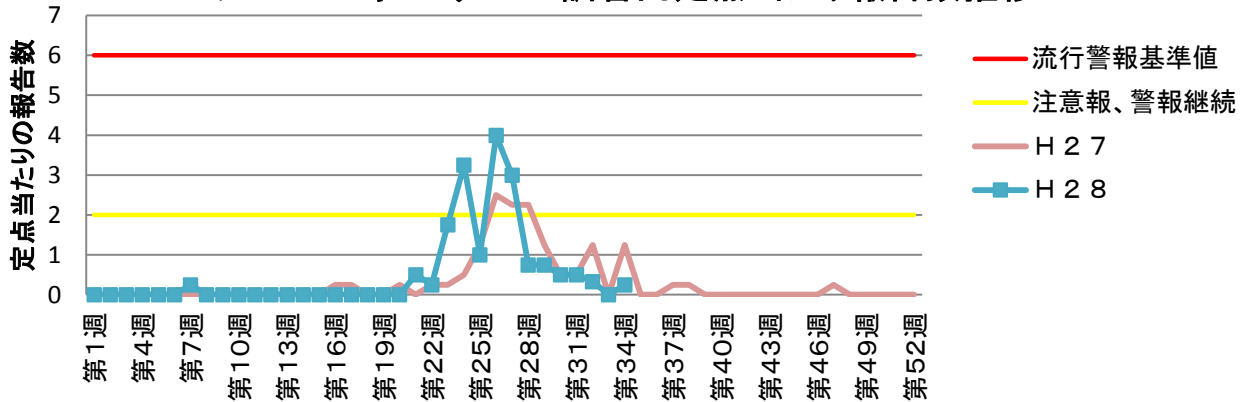
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

